

オリンピック・パラリンピック教育の推進について

1 庁内連携

2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、世田谷区に多くのレガシーを創出するため、全庁を挙げて本大会に係る施策を推進していくことを目的に、「2020オリンピック・パラリンピック競技大会庁内推進本部」が設置され、連携・調整を行う。

2 ねらい（オリンピック・パラリンピック教育の3つのレガシー）

- (1) 本教育に関わる体験や活動を通して、子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となる掛け替えのないレガシーを残していく。
- (2) 今後5年間で蓄積されるノウハウや人的ネットワーク等を活用し、学校における多様性への理解、国際交流、伝統・文化理解、ボランティア等などの取組を、大会後も長く続く教育活動として発展させていく。
- (3) ボランティアマインドの醸成や障害者理解の取組を家庭や地域へ波及させ、子供たちだけでなく、家庭や地域を巻き込んだ取組にすることにより、大人たちのボランティアマインドや障害者理解を高め、ひいては共生・共助社会の形成につなげていく。

3 基本的な進め方

- (1) 平成28年度から、すべての世田谷区立学校でオリンピック・パラリンピック教育を展開する。
- (2) オリンピック・パラリンピック教育を推進するに当たっては4つのテーマと4つのアクションを組み合わせて多様な取組を進めていくことを基本的枠組みとする。
- (3) 世田谷区の特長・環境（馬術競技・米国キャンプ）を生かした教育活動を、区長部局等と連携し、実施する。

4 今後の動き

(1) 平成28年9月まで

- 校長の経営方針や各学校の特色等に基づき、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動並びに教育課程外の教育活動である部活動等を含む全教育活動で、組織的・計画的に実施するための全体計画を作成する。
- 全ての学年において、各教科等を通じ、年間35時間程度のオリンピック・パラリンピック学習を実施できるよう年間指導計画を作成する。
- 教育委員会は、学校から全体計画・年間指導計画を集め、適切な指導を行う。

(2) 平成29年1月

「2020オリンピック・パラリンピック競技大会庁内推進本部」にて方針を策定する。

(3) 平成29年3月まで

- 体験活動・オリンピック等との交流活動など具体的な教育活動を行い、効果や課題を検証して、次年度の計画を立てる。

世田谷区立〇〇学校「オリンピック・パラリンピック教育」全体計画（例）

【意義】

- 多様な文化を受け入れ、あらゆる人々が互いの人権を尊重し合い、共に力を合わせて生活する共生社会の実現が必要である。
- 多様な価値観を持つ人々と協力・協働しながら課題を解決する力や臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、日本人としてのアイデンティティ、豊かな国際感覚などが求められる。
- オリンピックは、肉体と意志と精神の全て資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学であり、スポーツを人類の調和のとれた発展に役立てることである。
- 豊かな情操と道徳心、自主・自律の精神、公共の精神、伝統や文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことなどを定める教育基本法の教育目標や学習指導要領の理念にも相通するものである。
- 東京2020大会を重要な機会と捉え、世田谷区の子どもたちのよいところを更に伸ばし、弱みを克服するための取組を確実に推進し、東京2020大会の経験を通じ、その後の人生の糧となるような掛け替えのないレガシーを子どもたち一人ひとりの心と体に残していく。

【育成すべき人間像】

- (1) 自己を肯定し、自らの目標をもって、自らのベストをめざす意欲と態度を備えた人間
- (2) スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人間
- (3) 日本人としての自覚と誇りをもち、自ら学び行動できる国際感覚を備えた人間
- (4) 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人間

4つのテーマである「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の視点で各校の実態を踏まえ、取組のねらいを設定する。

【平成28年度「オリンピック・パラリンピック教育」のねらい】

- (例) ○全教育活動において、「平和でより良い世界の構築に貢献すること」を目標に、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培うとともに、豊かな心を育む。
- 体育科（保健体育科）を中心としたスポーツを学ぶ活動において、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な子どもの育成を図る。
 - 我が国で長い年月を経て育まれた伝統・文化や現代の文化や技術のすばらしさについて学ぶとともに、異文化に対する理解を深める。
 - 持続可能な社会の実現に向けて取り組むための教育（ESD）の学習を通して、環境問題について学習し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組もうとする態度を育てる。

各校の実態を踏まえ、「4×4の取組」の具体的な実践案を記述する。全ての欄について学校の全教育活動の中で必ず行うよう位置付ける。

【平成28年度「オリンピック・パラリンピック教育」の具体的な実践】(例)

	学ぶ（知る）	観る	する（体験・交流）	支える
オリンピック・パラリンピックの精神	○歴史、意義、人物、国際親善や世界平和に果たしてきた役割等、オリンピック・パラリンピックの精神や価値について学ぶ。（各教科、道徳、特活、総合） ○近隣の大学より専門的な知識のある先生方をお招きし、オリンピック・パラリンピックの歴史・意義・成り立ち等の講演を行う。（各教科、総合）	○東京五輪（1964）、札幌五輪（1972）、長野五輪（1998）の当時の資料映像等を鑑賞し、大会がもたらす社会への影響等について学ぶ。（社会・総合）	○オリンピック・パラリンピックとの交流において、実体験をもとにオリンピック・パラリンピック精神のすばらしさについての講話を行う。（道徳、総合）	○各種スポーツ大会などでボランティアや審判として関わった方々の講演を聞き、大会を支える側の方々の思いを理解する。（総合、特活） ○リオデジャネイロ大会についてボランティア等、大会を支える側の方々の思いを考えるとともに、東京大会での自分の関わり方について考える。（総合、特活）
スポーツ	オリンピック競技	○運動会や体育祭をオリンピックに関連付けて企画・運営する。（行事） ○世田谷区スポーツ振興財団の協力を得てオリンピック等を招聘し、競技種目を一緒に体験したり、観たりしてオリンピックに興味・関心をもつ。（体育、保健体育、総合、特活）		○学び舎の中学生が、運動会等の小学生のスポーツ活動をサポートする。（特活・総合）
	パラリンピック競技・障害者スポーツ	○パラリンピックの歴史、意義、人物、競技種目等や障害者スポーツのルールなどを学ぶ。（総合）	○近隣の特別支援学校（「東京都立久我山青光学園」「東京都立光明特別支援学校」）との交流で、パラリンピック競技、障害者スポーツを経験し、障害者理解を促進する。（総合、特活） ○世田谷区スポーツ振興財団の協力を得てパラリンピック等を招聘し、競技種目を一緒に体験したり、観たりしてパラリンピックに興味・関心をもつ。（体育、保健体育、総合、特活）	○近隣の特別支援学校の運動会等のスポーツ活動をサポートする。（特活・総合）
文化	日本文化	○「歌舞伎鑑賞教室」や「古典芸能鑑賞教室」等、日本の伝統文化・芸能等を鑑賞するとともに、実際に体験することを通して、深く理解する。（教科「日本語」、特活、総合、行事） ○東京や日本の伝統文化・芸能に直接触れ合う体験の場を設け、日本文化について深く理解するとともに、日本人としての誇りをもつ。（教科「日本語」、総合、音楽）		○地域の方々と連携を図りながら定期的に「あいさつ運動」を行い、「おもいやりの心」「礼儀正しさ」について考える。（総合、特活） ○在日外国人や留学生等を学校行事（学芸会、展覧会、合唱コンクール、運動会等）に招待し、「おもてなしの心」を身に付ける。
	国際理解・交流	○「世界ともだちプロジェクト」学習において、当該国の歴史、文化、芸能等の特徴や多様性を学ぶ。（教科「日本語」、社会、音楽、道徳、外国語、総合）	○児童・生徒が海外派遣で行く国々（オーストラリア、オーストラリア、カナダ）の学校や団体と様々な文化交流を進める。（総合） ○地域や近隣の大学等と連携し、在日外国人や留学生等との交流により、日本のよさを発信する。（教科「日本語」、社会、外国語、総合） ○ALTの授業において、積極的にコミュニケーションをとることができるよう授業改善を行う。（外国語）	○「和食」について学んだ基礎知識をもとに、在日外国人や留学生等と一緒に和食の調理し、「おもてなしの心」を身に付ける。
環境（持続可能性）	○大会の歴史と環境、大会で使われる環境テクノロジーなど、オリンピック・パラリンピックと環境との関わりについて学ぶ。（国語、社会、道徳、総合など）	○社会科見学等において環境分野で先進的な取組を行う企業の工場の見学・体験などを通じて、日本の最新の環境テクノロジーを学ぶ。（社会、総合）		○地域の美化活動、ゴミ減量、節電、リサイクル活動等を通して、環境を守ることへの意識を高める。（総合、特活）

東京都が制作したオリンピック・パラリンピック学習読本や映像教材を活用してオリンピックが求める世界や人間の可能性等について学ぶ。

準備期間（～平成28年8月）	第Ⅰフェーズ（平成28年9月～平成29年）	第Ⅱフェーズ（平成30年～平成31年）	第Ⅲフェーズ（平成32年以降）
○本教育を本格的にスタートさせる前の準備期間 (リオデジャネイロ大会終了まで)	○本教育を本格的に開始する期間 ・ボランティアマインドの醸成 ・障害者理解教育の促進 etc	○本教育の具体的な取組を一層充実させる期間 ・オリンピック・パラリンピック参加予定国・地域への理解・交流等を深めていく etc	○大会や関連事業を直接・間接的に行う本教育のピークであるとともに、有効な取組を継続していく期間 ・競技会場での観戦・応援、大会ボランティアへの参加 etc

<例>〇〇小学校 「オリンピック・パラリンピック教育」年間指導計画【1年生】

平成28年〇月〇〇日

<ねらい>

- オリンピック・パラリンピックについて興味・関心をもつ。
- 日本の伝統文化や世界の国々とのつながりについて興味・関心をもつ。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
知る			<p><文化> 【教科「日本語」】「世田谷の民話を読んでみよう」(3) ・日本文化を学ぶ。</p>				<p><オリンピック・パラリンピックの精神> <スポーツ> 【特別活動】 「オリンピック・パラリンピアンとの交流」(1) ・オリンピック・パラリンピアンとの交流を通して、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心をもつ。</p>		<p><文化> 【国語】 むかしばなしをたのしもう 「いなばの白うさぎ」(6) ・日本の昔話に親しむ。</p>	<p><文化>【特別活動】 「世田谷ともだちプロジェクト」(5) ・当該国について調べ、様々な国々への興味・関心をもつ。</p>		
観る			<p><文化>【外国語活動】 「英語を楽しもう」(4) ・ALTの先生と英語を通して交流する。 ・外国語活動を通して様々な国々に興味をもつ。</p>			<p><文化> 【音楽】 「にほんのうたをたのしもう(わらべうた、日本の歌)」(5) ・伝統的な歌遊び</p>						
する							<p><スポーツ> 【体育】「ゲーム」領域(8) ・楽しくゲームができるルールや規則について学ぶ。</p>					
支える	<p><文化><環境>【道徳】「礼儀」(1)、「親切、思いやり」(2) ・身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることや、気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接することを学ぶ。 ➡</p>											
											あいさつ運動	

＜例＞〇〇中学校 「オリンピック・パラリンピック教育」年間指導計画【1年生】

平成28年〇月〇日

＜ねらい＞

○スポーツにより心身の調和的発達を遂げ、オリンピックやパラリンピックの歴史・意義やその役割を理解し、国際親善などについて考える。

○我が国と世界の国々の歴史・文化などを学ぶとともに、相互に交流することを通して国際理解を深め、環境に配慮するなど持続可能な社会の実現に努めようとする。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
知る	＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ 【総合的な学習の時間】 「第32回オリンピック競技大会・東京2020パラリンピック競技大会が東京へ」「オリンピック・パラリンピックの精神」(2) →オリンピック・パラリンピック学習読本の活用		＜文化＞ 【国語】 「ものづくりに生きる」(3) ・日本の伝統技術について学ぶ。 ＜文化＞ ＜環境＞【社会】 「世界のさまざまな地域」「世界各地の人々の生活と環境」(5) ・オリンピックとサッカーワールドカップの開催国 etc			＜スポーツ＞ 【家庭科】 「食生活と栄養」(1) ・中学生に必要な栄養素とともに、スポーツと栄養について考える。	＜文化＞ 【国語】 「伝統—時を越えて」(4) ・「姫の物語？翁の物語？—竹取物語」 ・「とられた心に突き立つ矢—宇治拾遺物語」		＜スポーツ＞ 【保健体育】 「スポーツの多様性」(2) ・スポーツの始まりや発展、多様な関わり方について考える。		＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ 【国語】 「自由訳『イメージ』(抄)」(1)	
観る							＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ ＜スポーツ＞ 【特別活動】 「オリンピック・パラリンピアンとの交流」(1) ・オリンピック・パラリンピアンとの交流を通して、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心をもつ。 ・オリンピック・パラリンピックの精神について学ぶ。	＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ ＜文化＞ 【教科「日本語」】「人とのかかわりについて考える」(4) ・「心の行儀」「尊敬と感謝の心」「地域活動に参加して」				
する			＜文化＞ 【英語】 「Presentation1 自己紹介」(1) ・自己紹介の文を作成し、友達と交流						＜文化＞ 【英語】 「Presentation2 一日の生活」「Presentation3 思い出の行事」「道案内」(3) ・一日の生活や思い出の行事、道案内についての文を作成し、友達と交流する。			
		＜文化＞ 【音楽】「日本の伝統音楽に親しもう」「アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう」など(4) ・「箏曲」「尺八曲」や「日本の民謡」「アジアの諸民族の音楽」「歌い継ごう日本の歌」 etc								＜文化＞ 【総合的な学習の時間】「世田谷ともだちプロジェクト」(5) ・「世界ともだちプロジェクト」で調べた国々と交流を深める。 ・生徒が海外派遣で訪れた国の学校や団体と文化交流を進める。		
支える	＜スポーツ＞ 「運動会」(※6) ・近隣の小学校の運動会にボランティアとして参加し係活動等で手伝う。		＜環境＞ 学校の周り等の地域清掃にすすんで参加する。									
	＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ ＜文化＞学校や地域で行うあいさつ運動にすすんで参加する。										＜オリンピック・パラリンピックの精神＞ ＜文化＞地域のお祭りや様々な行事にすすんで参加する。	
	＜文化＞ ＜環境＞【道徳】「公正、公平、社会主義」(1)、「社会参画、公共の精神」(1)、「勤労」(1)、「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」(1)、「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」(1)、「国際理解、国際貢献」(1) ・誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めることや、社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めることなどを学ぶ。 ・地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛することや日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めることなどを学ぶ。 ・他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与することなどを学ぶ。											